

事業番号 【1】 5

平成25年度 外部評価 事業評価シート（平成24年度事業の評価）

1. 事業の概要

事業名	【2】 観光振興事業						
事業期間	【3】 開始年度	~	終了予定年度	—	担当部	市民経済部	
総合計画	【4】 めざまちの姿	6 産業の発展や交流による活力あふれるまち			担当課	商工観光課	
	基本計画【施策】	6 人が集うまち			担当係	商工観光係	
	成果指標	観光交流客数			中間目標 (H27)	9.0万人	
	マスコミへの観光情報提供回数			40回			
	再び本市を訪れたいと感じる観光交流客の割合			50%			
関連予算科目	【5】 一般 会計	7 款	商工費	1 項	商工費	3 目	観光費
	予算事業名	事業1	174	商工観光費			
	事務事業名	事業2	349	観光振興事業			
位置づけ	【6】 関連計画						
	根拠法令						
実施主体	【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 市 ・ <input type="checkbox"/> 国 ・ <input type="checkbox"/> 県 ・ <input type="checkbox"/> その他					
実施方法	【8】	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施・運営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部又は全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他（					
対象(誰のため)	【9】	<input type="checkbox"/> 全市民 <input type="checkbox"/> 特定の市民 <input type="checkbox"/> 特定の団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
事業の目的 (何のため)	【10】	湖西市のPR及び知名度向上と広域的な周知により誘客を図る。また、イベントを通じ広く湖西市の観光をPRする。					
内容(概要)	【11】	①広域連携による観光促進 静岡県内、静岡県西部地区及び浜名湖周辺の市並びに各種団体との連絡協調により効果的な観光行政を展開する。 ・PRグッズ、パンフレットの作成、配布 ②湖西市観光協会・新居町観光協会への補助 ・湖西湖上花火大会の開催 ・ウォーキングイベントの開催 ・サマーフェスティバル（海湖館周辺）の開催 ・牡蠣小屋（海湖館）の開催					
これまでの改善・見直しの状況	【12】	・JRと提携し、ウォーキング等の開催 ・近隣市や各種観光団体と連携し、効果的な観光PR活動を実施					

2. コスト 【13】

		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度支出の内訳
事業費(A)	予算	千円	7,661	12,377	7,964	(内訳)
	決算	千円	3,812	12,004	7,964	旅費 61千円
財源内訳	国庫支出金	千円				消耗品等(印刷製本含む) 1530千円
	県支出金	千円				委託料 4110千円 (観光基本計画策定、観光PR用ビデオ作成)
	地方債	千円				負担金 1,456千円 (県観光協会 603千円など)
	その他	千円				補助金
	一般財源	千円	3,812	12,004	7,964	・湖西市観光協会 3,800千円 ・新居町観光協会 1,047千円
人件費(B)	千円	3,120	4,060	3,586		
人工(職員数の内訳)	人	0.42	0.54	0.47	12,004千円	
トータルコスト(A)+(B)	千円	6,932	16,064	11,550		

3. 事業の評価

事業の実施状況

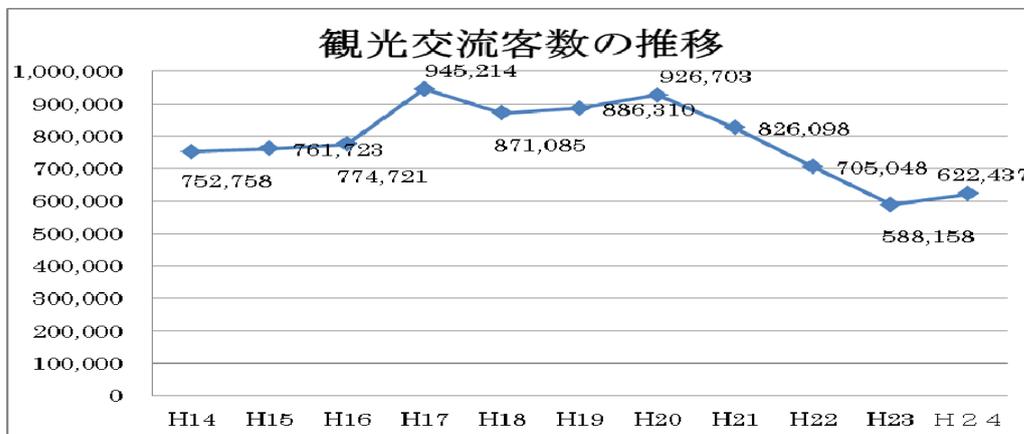
内容		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
活動指標	観光交流客数	人	目標	650,000	700,000	750,000
			実績	558,158	622,437	
		達成率	85.9%	88.9%		
		人	目標			
実績						
達成率						
実績・改善	平成24度活動内容	<p>【14】 県、近隣市と連携し広域的な観光行政に取り組んだ。 また、観光基本計画の策定、観光PR用ビデオを作成し、積極的にPR活動を実施した。 ・湖西ウォーキングスタンプラリーの開催 217人 ・観光PRグッズの作成、配布 ・観光基本計画の作成 ・観光PR用ビデオを図書館で貸し出し、道の駅・海湖館など市の観光施設で上映した。</p> <p>○補助金事業 ・湖西市観光協会 3,800千円 ・新居町観光協会 1,047千円</p>				
	課題・問題点となった事項	<p>【15】 広域的な連携・取組が浜松市の観光拠点を中心になる。観光コースとして湖西市まで周遊できるようにするためには、浜松市との連携が欠かせない。</p>				
	課題にどう対処したか(改善等)	<p>【16】 ・広域連携において、湖西市の観光イベントを周知し、パンフレットやモデルコースに組み込まれるようにした。 ・市が独自作成した観光案内ビデオを、動画投稿サイトのYouTube上で公開した。インターネット環境があればどこでもビデオを閲覧可能とし、全国的に湖西市を紹介する機会を増やした。</p>				
	【17】	[評価の視点]				
自己評価	必要性	C	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズ、緊急性、法的根拠など市が主体的に実施する必要性は高いか ・事業実施の意義や必要性が変化していないか ・惰性的に実施していないか 			
	有効性	B	<ul style="list-style-type: none"> ・成果が上がり、期待したとおりの効果が上がっているか。 ・目標に対しての達成度はどうであったか。 ・成果に向けた行政の活動量は十分であったか。・上位施策への貢献度は高いか。 			
	効率性	A	<ul style="list-style-type: none"> ・業務のOA化や外部委託、その他の方法により業務の効率化を図ることができないか。(成果を下げずに事業費を削減できないか。) ・実施体制は妥当か。(従事職員数は適正か。) ・市の他事業に類似した事業はないか、また統合できる可能性はないか。・適正な受益者負担を求めているか。 			
	優先性	C	<ul style="list-style-type: none"> ・同一施策内の優先度は高いか。 ・事業を廃止した場合、市民生活や市の他施策・事業に影響があるか。 			
	【20】	C	<p>[理由] 観光事業は、新たな産業である事から、今後も継続する必要がある。目的達成のための工夫やそれを生み出す環境が必要である。観光協会は、市の観光事業の実施者として役割は大きい。観光協会は統合する事が望ましいが、それぞれ特性に異なりがある事から当面は2つの観光協会を支援する。</p>			

4. 今後の事業の方向性 (次年度以降に反映)

事業の方向性	【21】	改善 (実施主体の変更)	実施主体	市・観光協会
今後の方向性	【22】	<ul style="list-style-type: none"> ・湖西市の最新の観光情報を柔軟に発信するため、市のウェブサイト(ホームページ)以外に観光専用ページを設け情報発信していく必要がある。 ・湖西市観光協会は事務局を市商工観光課で事務局運営している。一方、新居町観光協会は新居町商工会が運営しているなど、観光協会の体制が異なり活動内容に差が生じている。 湖西市観光協会についても、湖西市から独立した観光協会が主体となったイベントが行なえる団体になる必要がある。 		

1. 観光交流客数の推移

観光交流客数は、平成17年度に95万人を記録しました。過去10年間の平均では年83万人前後で推移しており、平成20年度に93万人に回復しましたが、その後、減少傾向にあります。

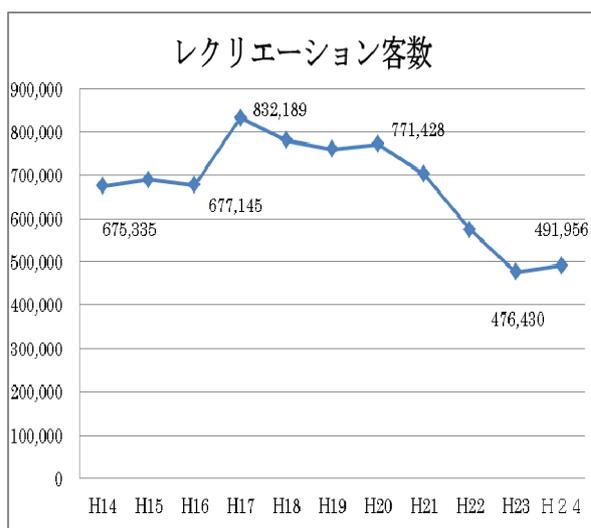


静岡県観光レクリエーション統計より

※観光交流客数は、①観光レクリエーション客数と②宿泊客数の合計です。

① 観光レクリエーション客数の推移

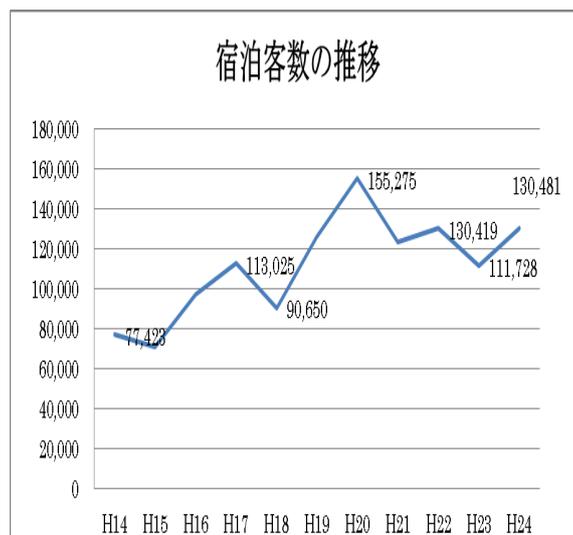
過去10年間の観光レクリエーション施設利用者数は平成17年度の83万人をピークとして平成23年度は47万人に減少しています。



※H22から潮見峠（農作物販売所）を市施設から除いている為、大きく減員しています。H22は海水浴場、海釣り公園の減が要因です。

② 宿泊客数の推移

H16ビジネス系ホテルの開業とともに増加しています。H21減少したのはリーマンショックによる企業関係の来訪者が減少したものと推定されます。



○観光資源別レクリエーション客数の内訳

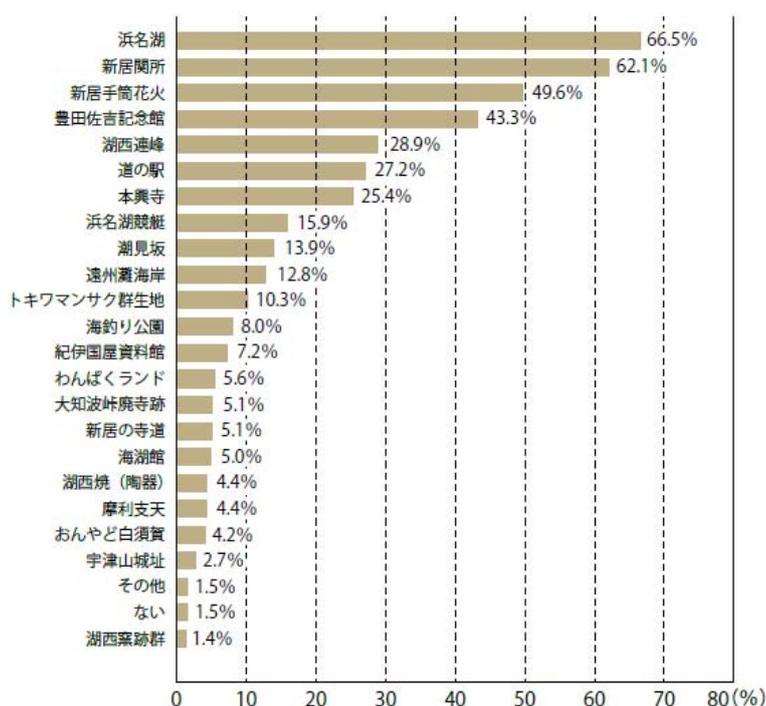
静岡県観光レクリエーション利用者統計に報告されている本市の観光資源は下表のとおりです。新居弁天海釣公園と海湖館の年平均来場者数は276,000人です。また新居弁天地区にある海水プールの「わんぱくランド」は1ヶ月半の夏季で26,000人程度の来場者があり、この地区が観光交流の中心となっています。

H19～24 観光交流数						(人)
観光地点等名	H19	H20	H21	H22	H23	H24
海釣公園	315,800	325,315	280,993	315,908	236,790	249,365
新居関所史料館	32,356	32,487	32,231	30,165	31,344	32,560
紀伊国屋旅籠資料館	15,990	17,450	17,742	15,658	15,681	15,222
わんぱくランド	26,626	26,199	23,963	26,023	22,845	27,540
豊田佐吉記念館	25,167	25,949	21,823	20,498	19,929	20,204
諏訪神社奉納花火	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
産業まつり「あらいじゃん」	20,000	20,000	20,000	12,000	12,000	12,000
新居弁天海水浴場	13,716	13,836	13,643	11,357	9,848	11,036
女河浦海水浴場	14,321	14,878	12,307	10,768	6,863	6,078
本興寺	6,661	6,355	7,261	6,576	6,175	3,460
おんやど白須賀	6,964	6,086	6,082	6,020	6,054	5,375
その他	262,711	262,873	246,688	99,656	88,901	89,116
合計	760,312	771,428	702,733	574,629	476,430	491,956

○市民意識調査より

観光

Q あなたは市の観光資源として、積極的にPRしていくべきだと思うのはどれですか。(○は5つまで)



前回は、「浜名湖」が69.5%で1位、「新居関所」が59.8%で2位でした。今回は「浜名湖」が66.5%、「新居関所」が62.1%と6割を超えました。上位の順位変動はありませんでした。



▲5月3日(金)～5日(日)に行われた新居関所での江戸時代姿でお出迎えの様子

湖西市観光協会

○ 構 成 員 31名（団体含む）

○ 事業費 7,156千円
（うち、市からの補助金 3,800千円）

○ 主な事業内容

1. 観光施設等の宣伝、紹介を目的とした事業

(1) 各種パンフレット・観光PRグッズの配布

- ① 市内ガイドマップ
- ② 湖西連峰ハイキングコースガイドマップ
- ③ 観光PRグッズ（ポケットティッシュ）

(2) 宿泊所、観光行事等の紹介、案内

(3) マスコミへの取材協力 25件

うち、雑誌等への情報提供	5件
新聞等への広告掲載	12件(38回)
インターネットへの情報提供	8件

2. 観光施設の運営を目的とした事業

(1) 女河浦海水浴場の開設運営

当市の観光スポットの一つである女河浦海水浴場をシーズン中開設し、当市への誘客を図った。

- ・ 開設期間 平成24年7月14日（土）～8月31日（金）
- ・ 海開き 平成24年7月14日（土）安全祈願祭
- ・ 入込客数 7月：1,963人 8月：4,115人 計 6,078人（前年 6,863人）

3. 観光振興を目的とした事業

- (1) 湖西連峰山開きへの協力(神事のみ) 平成25年3月24日（日）
- (2) 各種観光行事への後援、共催
湖西湖上花火大会
- (3) 県観光協会などの主催する観光キャンペーン事業への協力
旅まつり名古屋等のイベント会場でのパンフレットの配架等
- (4) 富士山の日イベント 平成25年2月23日（土）

4. 観光資源の調査・発掘を目的とした事業

(1) 湖西フォトコンテスト2012の実施

当市を効果的に宣伝するためのツールとして、市内の四季折々の景観や行事を題材とした写真を募集し、当市の観光的魅力の再発見を図った。

- 募集期間 平成24年10月1日～平成25年1月31日 40点の応募
- 審査会 平成25年2月14日
推薦1点、特選3点、入選5点、特別賞1点を選出
- 表彰式 平成25年3月5日

5. その他

(1) 観光名刺の販売

32ケースを販売した。

(2) 観光絵はがきの作成、販売

市政40周年記念事業の一環として、観光絵はがき作成事業が委託された。
湖西市観光協会として275部販売した。

新居町観光協会

○ 構成員 役員 17名

○ 活動費 2,983千円
(うち、市からの補助金 1,047千円)

○ 主な事業内容

1. 観光イベント

◎ 新たな活動

- ・ ニューツーリズム商品企画コンテスト 「牡蠣小屋」…写真①
- ・ 浜名湖の牡蠣「プリ丸」県内外にPR
- ・ 海の幸を活用した体験型イベント …写真②
- ・ サマーフェスティバル2012 (海湖館) …写真③
- ・ 磯釣り、船釣り大会
- ・ 諏訪神社奉納煙火 仮設トイレの設置
- ・ 産業まつりへの出店

2. PR活動

- (1) 各種パンフレットの配布・観光PR
 - ① 市内ガイドマップ
 - ② 観光PR
- (2) 宿泊所, 観光行事等の紹介、案内
- (3) マスコミへの取材協力

①

新居町観光協会特別企画
牡蠣小屋宿泊体験

浜名湖に泊って
海湖館 牡蠣小屋で
牡蠣むき・牡蠣焼き

焼き牡蠣
浜名湖産
新鮮の牡蠣

期間：平成25年4月1日(土)～4月2日(日)
料金：牡蠣むき体験 500円
牡蠣むき・牡蠣焼き体験 800円
1日2泊体験 1,500円
1泊2食体験 1,000円
1泊1食体験 700円
1泊0食体験 500円

予約：新居町観光協会
後援：湖西市 新居町商工会
問い合わせ：新居町商工会 TEL.053-594-0634

②

新居町観光協会 特別企画「うなぎ蒲焼き体験」「釜揚げしらす体験」

うなぎの蒲焼は焼き方に挑戦!!
アツアツの釜揚げしらすを食べよう!

うなぎ蒲焼体験 1人1,000円/全席3,000円
釜揚げしらす体験 300円

釜揚げしらす体験
シラスの鍋で自分で茹でる体験!!
アツアツの釜揚げしらすを食べよう!

釜揚げしらす体験
釜揚げしらす 200円、800円
(高橋商店製 釜揚げしらす)

日時：平成25年4月からの土日祝 (平日は予約のみ)
9:00~15:00 (月曜日休み)

場所：湖西市新居町 新居弁天 今切体験の里「海湖館」

「うなぎ」「しらす」飲食店・販売店 ご紹介いたします!!
新居町観光協会 TEL 053-594-0634

主催：新居町観光協会
後援：湖西市 新居町商工会
問い合わせ：053-594-0634

③

新居町観光協会 楽しくて 思い出が 「サーフ・フェスティバル2012」

とき：8月10日(土)
16:00~20:30

ところ：湖西市新居町 新居弁天
今切体験の里「海湖館」

うなぎつかみ体験・さかなどり体験

7月2日(火)~9月1日(日)

開催時間：9:30~14:00(8/10は、持参品あり) 9月1日は、10:00~14:00

さかなどり体験
活きた魚をつかみ取りを楽しく!!
参加料：600円
1区は必ずプレゼント!!
9:30~14:00

うなぎつかみ体験
土曜・日曜・祝日・曇り日のみ開催!!
活きたうなぎをつかみ取り!!
参加料：1,600円
1区は必ずプレゼント!!
11:00~スタート

主催：新居町観光協会 (053-594-0634 新居町商工会) 詳細は http://arashokanko.com/

平成25年度 湖西市外部評価 質疑応答要旨

事業名 観光振興事業

質問内容	回 答
湖西の自然、豊田佐吉等、地の利を生かし切れていない感じがするが、観光客向けに整備、開発する予定はないのか。	<p>現在資源の再発見を進めたいと考えているところですが、あれもこれも選択できる時代ではないと考えていますので、その中で精査し選択をしていきたいと考えます。</p> <p>現在5か年計画で新居関所周辺の整備計画が進んでいますので、それに併せた誘客を考えたいです。</p>
マスコミをもっと有効活用し、違う目的であっても観光客が増え、それによる口コミ等で足を運んでもらえる人達が増えることがあると考えますが、そのような計画、考えはないのか。	<p>現状はインターネットによる配信の他に、マスコミに対しては取材依頼の書類により対応をしていますが、最近はお口コミが一番強いと感じていますので、そちらの方向を充実させたいと考えています。</p> <p>いずれにしても「おもてなし」の体制を整えていく中でPRを進めていきたいと考えます。</p>
観光事業への新居支所の活用を考えてみてはどうか。全国に唯一現存する関所があるまちとして「大名行列の開催」に勝るものは無いと考える。そのためには新居支所の活用が、重要と考えるがどうか。支所の役割というのは、地域の特性に注目した取り組みが、地域の活性化を生むとおもう。観光行政に対しては、行政内部の横断的な協働も必要では。	<p>近隣では「二川の宿」気質の「姫様道中」が毎年祭りを開催しています。内容を見ていると地域の下支えがないと実施できない事業と考えます。</p> <p>そういう意味では、商工観光課が主体というより、地元新居支所が中心的な役割を持つ方が実態に即していると考えます。</p>
企業との協働ということで質問するが、「佐吉生誕の地」これは湖西市民の誇りである。佐吉記念館と工場見学などを組み合わせた取り組みの展開はどうか。湖西市は、ものづくりの町・工業都市であるという特性を生かした取り組みであるが、工場見学により企業としての努力点、エコ対策・経費削減策・製造ライン・検査体制、労働者としての外国人の姿など学ぶこと多く、湖西市らしさをPRできる。また、トヨタの新規採用職員が佐吉記念館を見学に来るが、トヨタに限らず湖西市内の企業の社員にも見学や研修会を開いてもらうような働きかけなどへ展開していければよいと思うが。	<p>豊田佐吉の誕生の地と言うことで「観光名刺台紙」などにも佐吉の生家をあしらうなど、市の紹介ではトヨタの礎を築いた豊田佐吉王を前面に出してPRしています。</p> <p>現在、工場見学を受け入れている企業としてはスズキ(株)がありますが、工場見学を観光の一部に組み込む場合は、最終製品を提供できる工場が主なもので、特に近隣で言えば、うなぎパイやビール等の食品業界に多くみられます。</p> <p>湖西の場合は、部品工場が多く、直接消費者に直結しないことから、なかなかお願いをしても難しいという状況です。会社としても最終製品のPRができないとか、最先端技術を表に出せないという側面もあるようです。湖西市らしさを出すという点では、観光資源の再発見を進める中で一番効果的な組み合わせをして湖西市らしさを表に出していけるか挑戦していきたいと考えます。</p>
市民意識調査「観光資源として積極的にPRしていくべきだと思うのはだれですか。」について浜名湖、新居関所、新居手筒花火、豊田佐吉記念館、湖西連峰という結果であった。今年策定したアクションプランへは、25年度の行動計画としてとして、新規事業6項目とあったが、具体的にこの結果を反映した事業は具体的にあるか。	<p>直接反映というわけではないですが、市民意識調査の結果で出てきたものについて、なぜそのような結果になったのかを分析しながら、資源の再発見に努めていきます。</p> <p>浜名湖や新居関所に関しては、単に知名度・シンボルとしての評価とも考えられます。</p> <p>浜名湖として大きなくくりで事業を実施するのは難しく、各地区での観光拠点の連携により浜名湖を表現していくことが最良かと考えます。</p> <p>そのような観点からすれば、もっと海湖館周辺が賑わう展開が必要と考えます。</p> <p>新居関所もシンボルとしての評価は高いですが、どのように生かすかという難しい所でもありますので、関所だけに頼るのではなく、新居の町全体を散策する楽しさなどを含めた中で、関所を引き立てる形がとれればよいと考えます。</p> <p>見るだけで満足しない環境に、観光全体が動いているのは確かな事で、新しいことを知る楽しみというのが強く求められていて、例えば子供の日に忍者や旅人の衣裳を着て記念撮影を案内人の方たちが実施していますが、それも一方法かと考えます。</p>

平成25年度 湖西市外部評価 質疑応答要旨

事業名 観光振興事業

質問内容	回 答
<p>小学校1年生から6年生までの57人に湖西市の好きなところを挙げてもらったところ、浜名湖や新居関所、手筒花火など市民意識調査で上位に挙げられていたものを、子どもたちはすべて知っていた。このように子どもたちも知っているような観光資源を活かすためのプロジェクトチーム等を作り、それぞれの分野のターゲットを決めて観光のキーワードとする、そういった取り組みはどうか。</p>	<p>いろいろな観光資源があるわけですが、それを各地域ごとに細かく紹介できる案内人のようなものを組織できればと考えています。より深く地元の資源を理解し、それを好きになって、来てくれた方に案内していくというイメージで考えています。最近は歩く観光、コミュニティ的なツアーが流行していて、長崎や大阪などでかなり大きな成功を収めています。何もないと思っている地域のことを、見てみると、他の地域から見ればすごいものが実は潜んでいて、それを発掘し説明をしていくということをツアーでやっています。さまざまな観光資源のある湖西市でもその考え方が有効であると考えておりまして、まずは観光資源を取り出し、再開発し、まちの人たちに愛してもらう。そして説明できるようになってもらい、最終的には来てくれた人をおもてなしできるようにする、というように進めていきたいと考えます。</p>
<p>市として観光に取り組むことと、観光協会に委託していることは、どういう風に業務をわけるとか。</p>	<p>観光協会には実際のイベント実施の分野にて活躍していただいています。 市は、現状としては公衆用トイレや道の駅、わんぱくランド、海湖館等の施設運営と広域的な連携として県・浜松市との共同事業を実施しています。</p>
<p>PRしたい湖西の魅力が「浜名湖」や「関所」とあるが、そのアプローチの仕方はどう考えているか。浜名湖の見えるサイクリング道路の整備や観光資源の点と点を結んでコースにし、物語の要素を入れるべきと思うがどう思うか。</p>	<p>点と点を結んでいかないと単調な観光となってしまいますので、来ていただいた方が飽きずにいろいろな発見があるということが必要と認識しています。奥浜名湖では五山めぐりとして寺社の連携をしていますが、それに似た、点と点を結ぶ物語を作っていくことが、私たちの仕事と考えます。いろいろな資源を調査していく中で、どの結び方が最も効果的かを今後検討し、いいコースを作っていきたいと考えます。</p>
<p>東三河では蒲郡が宿泊地、豊橋が情報発信地、田原がグルメ・ドライブコース、奥三河が昔ながらの農村風景・・・などそれぞれの市町村が地域の特徴を生かし役割を担っている。一方、浜名湖観光圏という広域連携の中で、浜松にない湖西市の役割とは何か。</p>	<p>浜松は1市で山岳部の水窪から農業地帯の三ヶ日、観光を主産業とする館山寺、フラワーパーク、動物園、博物館など多様な資源を活かした観光を展開しています。 湖西市もその一角を担うべきではありますが、浜名湖を1周するとすれば、瀬戸を通り左手に浜名湖を眺め山手でフランス料理、またヤマハマリーナ、昔の風情のある女河浦海水浴場、おちばの里親水公園、海釣り公園、遠州灘等少しの移動で、いろいろな自然が楽しめる地域だという点を売りにしたいと考えます。 また、新居関所周辺は歴史の街であり、関所だけではなく、町割りや寺道をめぐると、昔の人の息遣いがわかる面白い街であり、そこにしかない特性を売りにしていきたいと考えます。 その魅力は、「素朴さ」というものをキーワードとしていきたいと考えます。</p>
<p>湖西の観光協会の事務局は市にあるようだが、市と観光協会との関係を今後どうしていきたいと市は考えるのか。</p>	<p>観光協会には、観光の実務としての担い手を期待しています。どうしても市で行うといろいろな制約があるので、その制約から離れて観光協会は柔軟な体制で、いろいろな細かいPRなどができればいいと考えます。</p>

評価結果詳細

事業名	5 観光振興事業	外部評価結果（評価員10人）				
事業内容	①広域連携による観光促進 静岡県内、静岡県西部地区及び浜名湖周辺の市並びに各種団体との連絡協調により効果的な観光行政を展開する。 ・PRグッズ、パンフレットの作成、配布 ②湖西市観光協会・新居町観光協会への補助 ・湖西湖上花火大会の開催 ・ウォーキングイベントの開催 ・サマーフェスティバル（海湖館周辺）の開催 ・牡蠣小屋（海湖館）の開催	A	B	C	D	E
		継続	改善			廃止
			その他	一部改善	実施主体の変更	
		0	10	0	0	0
評価理由 ・改善案 主な意見 （評価員）	<p>【B 改善:その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 湖西には埋もれた資源がたくさんあり、浜名湖という自然公園に面しているにも関わらず、観光のイメージがないのが残念である。湖西市の魅力を知ってもらうことによって市民の誇りを強める必要がある。ブルーツーリズム（沿海部の漁村に滞在して、海辺での生活を体験するもの）、グリーンツーリズム（農村や山村などで自然や文化と親しむもの）を用いた観光政策を期待する。 豊田佐吉や新居関所といった観光資源をどのように活かし、いかに他地域から人を呼び込むかが必要と感じた。さまざまな観光資源のある湖西市の、浜松にはない魅力は何なのか、市内外に住む人からの意見収集に取り組んでみてはどうか。関所ならば豊橋と、浜名湖ならば浜松と今以上に連携して事業を行えば、持続的な観光振興につながると考える。 説明を聞いて消極的な印象を受けた。積極的な攻めの仕掛けをしていくべきではないか。民間の力を活用して推進してほしい。協会は自立に向けての働きかけるべき。そのうえで必要なサポートをすべきと考える。 地の利を活かし、観光に対する整備・開発を進め、さらなるアピールを強め「まずは足を運んでもらう」から始め、集客を進めてほしい。 観光協会の統合を進め、ゆくゆくは観光協会事業を市から分離する。それまでに観光の横展開を市が実施すればよい。 湖西と新居の連携が最初であり、次に浜松市等の広域連携になる。そのためにも湖西・新居の統一した組織づくりが必要ではないか。「ものづくりの町」をもっとアピールした方がよい。 事業ごとのプロジェクトチームを作り、それぞれの良さをもっと引き出してほしい。実施は観光協会でよい。観光キーワード「豊田佐吉」「新居関所」を打ち出して、市民も口に出して言えるようにしてほしい。地元の人にも愛されるような観光資源の構築をお願いしたい。 観光協会の統合が必要。また、統合後に湖西市の「観光資源」の再確認を行い推進する。観光協会の事務局は行政や商工会の片手間ではなく、専従の必要性があるのではないかと。 JRの駅が3つもあり、天竜浜名湖鉄道の駅もある。豊かな自然、豊田佐吉、新居関所もある。PRの方法をもっと考えてください。 大名行列など、湖西市にしかない観光資源を活かすようチャレンジしてほしい。新居地域センターの活用による地域の活性化を目指してほしい。佐吉記念館と企業とのコラボによる工場見学会の開催も検討してみてはどうか。 					